

留 学 生 通 信

“ヨーグルト+琴欧州=ブルガリア” ではない

Not only [Yogurt + Koto-oushu = Bulgaria]



アドリアナ アンドレエバ
Adriana Andreeva

■主として行っている業務・研究
・CO₂排出を低減する複数の航空機の降下
経路最適化

■所属学会および主な活動
日本航空宇宙学会

■通学先
東京大学 大学院工学系研究科 航空宇
宙工学専攻 鈴木・土屋研究室
(〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1 /
E-mail : tt076403@mail.ecc.u-tokyo.ac.jp)

1 はじめに

Adriana Andreevaさんは、東京大学の航空宇宙工学専攻に留学中であり、もう来日から6年目である。Adrianaさんはこの間に、メカライフ編修委員長(中尾)の設計の講義(留学生向け英語版)を受けた。彼女は非常に優秀だったし、話が面白かった。そこで、この記事をたまたまブルガリアに帰っている彼女にお願いした。下記の日本語は彼女が書いたものである。地図を開いてブルガリアのツアレベッツを探してみよう。ブルガリアの第二の都市、ヴェリコ・タルノヴォの旧市街の丘がツアレベッツである。

2 ヨーグルトだけ?

ブルガリアは、地中海と黒海の間には突き出たバルカン半島東部に位置し、ルーマニア、セルビア、マケドニア、ギリシャ、トルコと国境を接している。一般には、バラやワインの産地としても知られているが、日本では言うまでもなく「ヨーグルトの国」や大関琴欧州の出身地として有名である。しかし、ブルガリアはそれ以外にもさまざまな顔をもつ。面積は日本の3分の1と小さく、人口はわずか760万人で、2007年にEU(ヨーロッパ連合)に加盟した。ブルガリアは公用語のブルガリア語を書くためにキリル文字を用いる。キリル文字は、日本ではよくロシア文字と呼ばれているが、実は9世紀にキリルとメトディーというブルガリア系ギリシャ人の兄弟によって作

られたスラヴ民族用アルファベットである。二人はスラヴ民族に宣教活動する際、聖書をスラヴ語に訳したが、それを表記するためにキリル文字を作った。ブルガリア人ならば6歳の子供でさえ、「だれが私たちの文字を作ってくれましたか?」と聞けば、「キリルとメトディーの兄弟です!」と答えるはずである。

3 教育システム

ブルガリアの教育システムは主に二つに分けられている。ベーシック教育(グレード1からグレード8まで)と中等の教育(グレード8からグレード12まで)の二つで、両方とも無償である。義務教育は、6歳または7歳から始まるベーシック教育の8年間である。ベーシック教育はさらに4年ごとに分けられており、日本と同じように小学校と中学校と呼ばれる。高等学校はグレード8から始まるが、地域によってその分け方が違う場合もある。日本の学校と比較してみると休みが多い。たとえば、夏休みは2箇月半から3箇月半である。また、ほとんどの学校で子供たちはシフト制で勉強している。つまり、学校に行くのが午前か午後のどちらかで、給食はない。学校以外に英会話やスポーツレッスンもあるが、日本と違って塾そのものがないため、自由に遊べる時間が多い。また、日本と違って私立の学校が非常に少なく、一方で国立学校の教育の質は高い。なお、ブルガリアの学校はすべて男女共学である。中等の教育は総合学校かまたは専門学校で受けら



図1 夏のツアレベッツの城塞

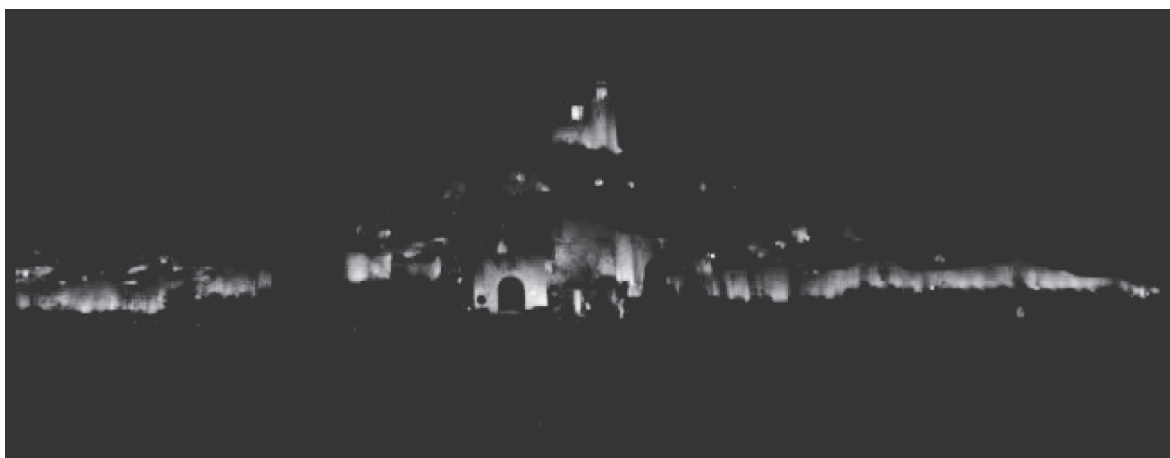


図2 ツアレベッツの城塞における「サウンド&ライト」

れるが、専門学校は専門ごとに男女比が異なるが、総合学校では男女の数がほぼ同じである。総合学校では、数学、理科、外国語を中心に教えるため、女性でも科学に興味を持ち、何か特別な勧誘をしなくても、多くの女性が理系の大学を選択する。結果として、大学の工学部でさえ学生の半分は女性である。

4 修学旅行へ！

ブルガリアの美しい山間の町としても知られているヴェリコ・タルノヴォは、修学旅行の目的地として有名である。ヴェリコ・タルノヴォは日本でいえば京都であり、第二次ブルガリア帝国の首都として栄えた古都である。ヴェリコ・タルノヴォの見所は、間違

いなくツアレベッツの城塞^{さい}である。その城塞はツアレベッツの丘にあり、高い城壁に囲まれている(図1)。貴族は町の中心部に住み、庶民は城壁の近くに住んだそうである。ツアレベッツの城塞はトルコの侵攻時にかなり破壊され、現在残っているのはほとんどが庶民の家の遺跡である。ツアレベッツの丘の山頂には教会があり、その中にカラフルな壁画があり、昔のブルガリア人の暮らしが描かれている。さらに、教会のいちばん上まで登れば、ヴェリコ・タルノヴォの息をのむほど美しい景観を楽しむことができる。また、夜に「サウンド&ライト」というショーが行われる(図2)。そのショーはツアレベッツの城塞を使って、音楽と光でこの街の歴史を表現している。ショー

は、花火で照らし出している夜空の下で、教会の鐘の音を聞くことで盛り上がる。でも日本と違って、花火は国民の祝日のお祝いの象徴になっているので、「サウンド&ライト」も毎日ではなく、国民の祝日に行われる。

ブルガリアと日本は違う点がたくさん見つかる。しかし、よく見れば違うというほど違ってもおらず、バリエーションの一つと言えなくもない。やはり、「同じ地球に住んでいる！」と感じる。